

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 新井重一郎（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎学力向上に向けた取り組みの強化 2 太陽光発電市内普及状況と補助金実績 3 水源地・水源涵養林の保護対策 4 公共下水道・合併浄化槽の普及促進 	<p>⑤ 赤岩 秀文（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 伝統芸能文化伝承施策 2 児童通学時の安全確保における道路施策 3 選挙の投票率向上施策 4 地籍調査（大滝、浦山地区） 	<p>⑨ 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市役所本庁舎及び市民会館建設 2 教育委員会制度改革 3 公共施設のトイレ改修
<p>② 黒澤 秀之（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産業・雇用政策（政策提言書より） 2 行財政改革（政策提言書より） 	<p>⑥ 清野 和彦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ウッドスタート宣言 2 地域主導型エネルギー転換政策 3 大雪の際の相談先 4 パブリックコメント制度 	<p>⑩ 浅海 忠（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 企業誘致・既存企業への更なる支援 2 行財政改革と公共施設の再編整備 3 生活環境の充実（水道広域化推進）
<p>③ 五野上茂次（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療・福祉・健康政策 2 教育・子育て政策 3 伝統芸能・文化伝承政策 4 通学道路の対策 	<p>⑦ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市庁舎等建設の市と市民の気持ちの乖離 2 認知症カフェの設置 	<p>⑪ 江田 治雄（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光振興と街づくり（大滝の瀧谷洞） 2 農業政策の支援と充実（有害鳥獣対策） 3 地域愛を育む教育（伝統芸能の継承）
<p>④ 富田 俊和（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防犯、防災政策 2 交通、道路政策 3 建設、まちづくり政策 4 秩父市公設地方卸売市場の改修 	<p>⑧ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子育て支援 2 その後の雪害に対する市の対応 3 市役所本庁舎及び市民会館建設計画 	<p>⑫ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地産地消型エネルギーの活用は 2 大規模雪害に備えて 3 全国学力テスト学校別公表の是非

※ 市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

基礎学力向上の取り組み強化



あらいじゅういちろう 新井重一郎

問 学校別成績の公表に至った理由は。

答 市民への説明責任を果たすことと各学校の良い点・改善点、今後の取り組みの周知と学力向上に向けた家庭での協力要請のため。

問 全国、県平均との成績比較

答 小中学校では、上位層が少なく中位層が多い。中学校では、中位層から下位層が多い。小・中ともに全国、県平均以下。

問 今までの学力テストから、成績が比較的良好い学校、比較的悪い学校の固定化は生じていないか。

答 顕著な傾向は見られない。
問 各学校の成績と児童・生徒数との相関はあるか。

答 年度にもよるが、国語に関しては小規模校の方が、中・大規模校よりも良い傾向が見られる。算数・数学には相関は見られない。既に少数指導を実施していることによると思われる。

エネルギー、環境対策の充実

問 太陽光発電の市内公共施設における普及状況と市内設備設置費補助金の実績（24～26年前期）。

清流クラブ 新井重一郎

答 12の公共施設で合計出力150・7kW、3年間の市内支給件数182件、補助総額1784万円。

問 今後、補助金の継続や増額は。

答 新年度の予算編成の中で検討。
問 水源地・水源涵養林の保護対策は。

答 埼玉県水源地域保全条例が24年に施行、森林の土地取引に事前届出が必要。市の届出は24年2件、25年6件、県と連携し保護に努める。



元氣村に設置された太陽光パネル

◎ 公共下水道・合併浄化槽の促進

一般質問

清流クラブ政策提言書に おける市の対応



清流クラブ 黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき

●産業・雇用政策について

問 企業誘致・育成、雇用対策の取り組み状況は。

答 これまでに10社を超える企業へ情報提供をしているが、現在のところ、立地の決定に至った企業はない。育成については、引き続き、地域内の企業を訪問し、支援を必要とする企業を掘り起し、他の企業や研究機関への橋渡しを行っていく。雇用対策として、秩父地域雇用対策協議会やハローワーク、県、地域の県立高校など、関係機関と連携を密にして、秩父地域の人材確保、雇用対策の充実に向け、積極的な支援を図っていく。

●農・林業振興施策の現状は。

答 「人・農地プラン」を策定した地域を重点的に対応していく。また、秩父産木材の知名度向上と流通量拡大に向け推進していく。

●工業振興施策の更なる充実を。

答 情報不足を挙げる企業の割合が多く、産学官コーディネート事業をより充実させ推進していく。

●商業振興施策の具体化を。

答 秩父市まちづくり景観計画を基に、地域に残る歴史的な景観に

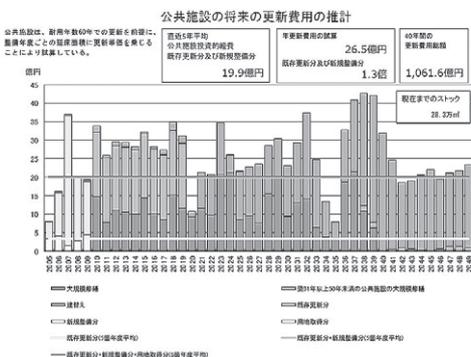
配慮しつつ、魅力的な街並み景観、まちづくりを推進していく。

問 おもてなし観光の検証と今後。秩父地域おもてなし観光公社を中心に各種施策を展開していく。

●行財政改革について

問 将来の財政計画に見合う組織体制の構築を早急に行うべきでは。

答 国の求める公共施設等総合管理計画を早期に策定すると同時に、長期的な視点において、絵に描いた餅にならないよう、実現可能性を求めて、今後も推進していく。



公共施設の将来の更新費用推移

秩父市公共施設ファシリティマネジメント方針及び基本計画より抜粋

清流クラブ政策提言



清流クラブ 五野上茂次
ごのかみ しげじ

問 産婦人科医ならびに小児科医の充実の強化。

答 産科医療については、現在市内の産科医療機関に埼玉医科大学より派遣をいただき妊産婦の受入が強化されている。また小児科医の医師数は安定しており圏域内の連携もスムーズにできている。

問 小中学校の普通教室へのエアコン設置を2年以内で行い、格差のない教育環境の実現。

答 市の厳しい財政状況の中、おおよその目安として4年計画で整備を行うこととしている。

問 高篠中学校校庭拡張のための用地確保。

答 測量費や用地の購入費、物件の補償費など、かなりの財政負担が伴うことから、関係者の意見を伺いながら研究・検討していく。

問 文化財・歴史的伝統行事の保護と継承(山田地区屋台収納蔵)の改修計画の検討。

答 山田の春祭りの屋台笠鉾は、市の有形民俗文化財に指定されている。秩父市文化財保存事業費補助金交付要綱により、上限百万円まで補助できるので要望を把握して対応させていただきたい。



山田地区屋台収納蔵

- ◎豪雪対策
- ◎企業支援の現状
- ◎公式ソフトボール場の設置

問 市道幹線10号線の整備計画について、歩道橋の設置(秋川橋)

答 通行の安全確保のため現在の橋をすべて車道に変更し、歩道は現在の橋の上流側に幅員2メートルの歩道橋を新設する計画。

問 定峰峠の桜並木の整備について、要望書の対応状況は。

答 農林振興センターと協議し、埼玉県緑化推進委員会のゴルフ緑化基金の申請手続きを町会から行っている状況である。

一般質問

防犯・防災政策について



清流クラブ 富田 とみおか
俊和 としかず

問 土砂災害の防災対策についてどのような対策をとっているか。

答 市内には、658箇所土砂災害危険区域があることから、土砂災害に対する避難行動の判断が早めに行えるように、本年9月に避難準備情報や避難勧告、避難指示の発令基準と市民への伝達方法を定めている。

交通・道路政策

問 今後の人口減少、過疎地域等の状況変化に伴う公共交通（特にバス）確保の考えは。

答 交通機関は社会生活の基盤であるとの理念に基づき、利用者の利便性向上に繋がるよう、随時、バス会社と協議を重ねながら改善に努める。

問 自転車事故は埼玉県が全国ワースト一になっているが、市では自転車乗車時の交通ルールについてどのように指導教育しているか。

答 市では、以前より小学生や幼児を対象とした交通安全教室を開催している。また警察署で実施する安全教室、通学時の街頭指導等を行い、交通安全に努めている。

清流クラブ政策提言より



清流クラブ 赤岩 あかいわ
秀文 ひでふみ

伝統芸能文化伝承施策

問 伝統芸能維持発展と学校における伝統芸能教育の導入促進についての現状と今後は。

答 無形民俗文化財に指定されている保存団体に補助金を交付し支援している他、年1回民俗芸能大会を開催し発表している。学校教育においては現在、小学校11校、中学校5校が伝統芸能教育に取り組んでおり10年以上継続しているものもある。

問 秩父祭、屋台笠鉾取蔵庫は、築40年余り経過している。修繕、建て替え、耐震化等の対応は。

答 不具合のある箇所については、早急に修繕していく、取蔵庫の老朽化については調査をして耐震化等、対策を検討する。

児童通学時の安全確保と高齢者保護の観点における道路施策

問 車道と路側帯を明瞭に区分し交通事故を防止する歩行用路側帯（グリーンベルト）の整備状況と、新設補修の計画について。

答 昨年は上町、大野原地内で387メートル、今年度は上町、近



にぎわう公設卸売市場

◎建設・まちづくり



歩道整備のない通学路

◎選挙の投票率向上施策
◎地籍調査（大滝、浦山地区）

戸町地内で710メートルの整備を進めている。新設については通学路で歩道のない道路を優先的に整備する。補修についてはラインが薄れている所を状況確認しながら計画的に補修を実施する。

問 危険性のある通学路はどのような方法で把握しているのか。

答 学校教職員の巡回や、児童生徒又は、保護者、地域住民の方達から情報を得ている。

一般質問

大雪の際の相談先について



きよの かずひこ
清野 和彦

問 大雪のため、自力での対応が困難で、生活への支障が予測され、公の助けが必要な場合、市民はどこに相談したらいいか。

答 除雪の優先順位は、県では国道、県道の優先除雪道路を除雪。市は緊急輸送病院、産科、透析実施医療機関等の路線、ドクターヘリ及び防災ヘリ離着陸場への路線、主要基幹道路・国道へ通り抜ける路線及び公共交通の拠点箇所等の路線を優先。続いてその他の医療機関、教育機関及び福祉施設への路線、地域ごとの重要路線等を除雪。通常は幹線道路を中心に業者に委託し除雪しており、それ以外は原則的には自助または地域の共助で対応していただいている。社会福祉協議会による除雪ボランティアセンターは、市の災害対策本部が立ち上がる場合に開設を考えているようである。

する「ウッドスタート宣言」をしてはどうか。

答 秩父の木のPR、子育て支援、地場産業支援につながる取組みであり「木育」の切り口で秩父の森林林業の活性化を図るため、ウッドスタート宣言について検討し、誕生祝い品事業の実施に向けて取り組んでいきたい。



大雪時には町中でも孤立する可能性があります

問 ●ウッドスタート宣言
自治体として「木育」を推進

◎地域主導型エネルギー転換政策
◎パブリックコメント制度

認知症カフェの設置について



いづみら あきえ
出浦 章恵

問 全国で認知症の人は460万人、さらに予備軍の人は400万人とも言われ、その対策は急務。秩父市の認知症の人の推移は。

答 要介護認定における医師の意見書で認知症高齢者の目安となる「日常生活自立度Ⅱ」（日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても誰かが注意していれば自立できる）以上の人の要介護認定者に占める割合は、24年度53・3%（2048人）、25年度55・4%（2034人）、26年度推計で54・6%（2064人）となっており、認定者の約半数を占めている状況。

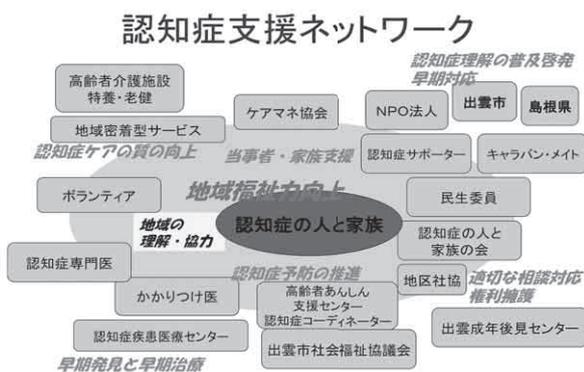
問 若年認知症の人はどのようか。

答 65歳未満で発症した場合を言うが介護保険の対象となる40歳以上の初老期における認知症の疾患。現在介護認定を受けている人6名。

問 島根県出雲市では若年認知症の人も含めて、認知症の人やその家族が情報交換をする集いの場として設置され、1回100円でコーヒーを飲みながら気軽に立ち寄れる場所として好評である。秩父市も設置の考えがあるか。

答 近隣では、小鹿野町が26年11

◎建設の市と市民の気持ちの乖離



出雲市の認知症支援ネットワーク

月より開設している。交流の場として非常に重要であり、市としても身近な地域に認知症カフェの設置を進める必要があると認識している。今後は、実施主体や設置場所等を含め、運営にどのような支援が必要か今後の実施に向け検討する。

問 認知症予防の回想法の取組は、進行を遅らせ、精神的安定を図る療法をグループホーム等で行っている。

答 進行を遅らせ、精神的安定を図る療法をグループホーム等で行っている。